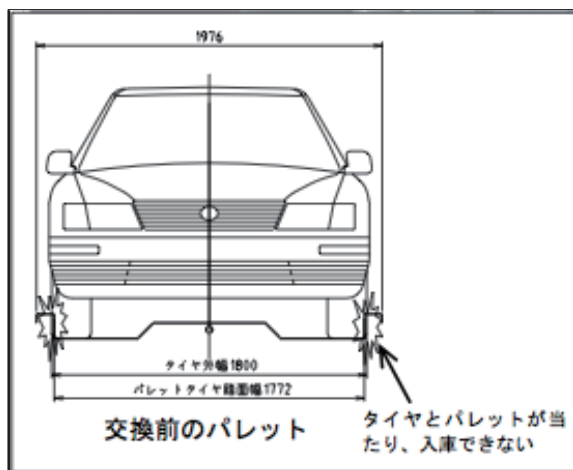


プラス 50mm の余裕で入庫車ワンランクアップ

幅広パレットへの交換

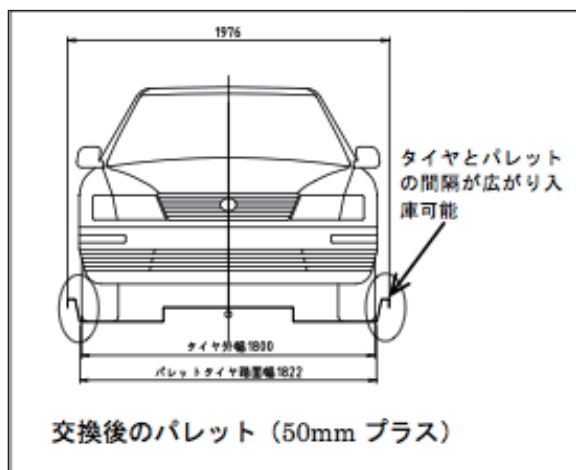
昨今、自動車の大型化が進んでいます。建設当初は大型車対応をうたっていた駐車場でも、現在では対応しきれない車種も出てきています。また、5ナンバーサイズ対応では十分な稼働率・収益を得ることが難しくなるかもしれません。



<交換前>

タイヤが乗る部分の幅が1,772mmしかなかったため、シーマ、セルシオ(レクサス)クラスの間(タイヤ幅1,800mm前後)はタイヤがパレットに当たり入庫できませんでした。

駐車場の収益アップ・イメージアップのために幅広パレットへの交換をおすすめします。



<交換後>

タイヤが乗る部分の幅が1,822mm(交換前+50mm)になり、シーマ、セルシオ(レクサス)クラスの間(タイヤ幅1,800mm前後)の車も入庫できるようになりました。パレットの立ち上がり部分を傾斜させているため、タイヤが当たりにくく、入庫しやすくなっています。

(注:パレット長さが短い機種では、入庫できない場合もあります。)



このように駐車場のパレット部分を交換すれば対応車種を増やすことができます。交換はパレット5枚から承ります。必要な台数のみ交換してはいかがでしょうか？

